



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7178-6530
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,940	△3.0	1,475	△2.2	1,481	△3.2	1,026	1.8
2020年3月期	18,490	8.6	1,508	14.5	1,529	14.7	1,008	6.9

(注) 包括利益 2021年3月期 939百万円(△9.6%) 2020年3月期 1,038百万円(16.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	128.18	126.86	7.9	8.4	8.2
2020年3月期	123.58	122.38	8.1	9.1	8.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 0百万円 2020年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	17,722	13,617	75.2	1,695.30
2020年3月期	17,651	13,086	72.5	1,583.46

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,335百万円 2020年3月期 12,794百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	924	△172	△644	2,355
2020年3月期	1,407	△478	△104	2,195

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	0.00	-	26.00	26.00	210	21.0	1.7
2021年3月期	-	0.00	-	26.00	26.00	204	20.3	1.6
2022年3月期(予想)	-	0.00	-	28.00	28.00		21.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	-	620	-	620	-	415	-	52.76
通期	18,350	-	1,520	-	1,520	-	1,020	-	129.67

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっていることから、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 -社（社名） 、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年3月期	8,745,408株	2020年3月期	8,745,408株
2021年3月期	879,043株	2020年3月期	665,541株
2021年3月期	8,011,533株	2020年3月期	8,159,884株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は2021年5月28日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この決算説明会で配布予定の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による国内外の経済活動の停滞により、景気は急速に悪化いたしました。5月下旬の緊急事態宣言解除後、経済活動は緩やかな持ち直し局面に入りましたが、感染の再拡大により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、緊急事態宣言の発令に伴い、一部の工事において中断等の措置が取られた影響がありました。インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、徐々に安定化傾向が見られるものの、感染症拡大の長期化で、設備投資抑制の影響も引き続き見られることから、感染症拡大前の水準への回復には時間を要するものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、「中期経営ビジョン2020」のもと、成長戦略のキーワードとして掲げる「安定供給」、「安定品質」、「市場創出」の一層の促進に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は17,940百万円（前連結会計年度比3.0%減）、営業利益1,475百万円（同2.2%減）、経常利益1,481百万円（同3.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,026百万円（同1.8%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

各種設備工事等の需要は、民間工事・公共工事ともに前年を下回る水準にとどまっております。これに伴い、当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は減少いたしました。また、インフラ関連を中心に完成工事高が増加したものの、ドリル・ファスナー製品の販売が減少し、海外売上高についても減少したことから、総じて軟調な推移となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13,588百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は1,761百万円（同6.6%減）となりました。

②機能材事業

電動油圧工具関連の販売が、国内・海外ともに前年を下回る水準で推移したほか、電子基板関連、FRPシート関連及びアルコール検知器関連の販売も減少いたしました。一方、2020年3月期第2四半期より新たに加わった、包装・物流機器関連の売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は4,352百万円（同2.9%減）、セグメント利益は526百万円（同15.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保及び健全なバランスシートの維持を念頭に財務の運営にあたっております。

当連結会計年度（以下、「当期」という）末の総資産は、前連結会計年度（以下、「前期」という）末比70百万円（0.4%）増加し、17,722百万円となりました。

流動資産は同198百万円（1.8%）増加の10,953百万円、固定資産は同127百万円（1.9%）減少の6,769百万円となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加が136百万円、受取手形及売掛金の増加が179百万円、前渡金の増加等により、その他流動資産の増加が127百万円となった一方、未収入金の減少が176百万円、有形固定資産の減少が184百万円となったことによるものであります。

当期末の負債の合計は、前期末比460百万円（10.1%）減少の4,104百万円となりました。流動負債は同301百万円（10.8%）減少の2,478百万円、固定負債は同159百万円（8.9%）減少の1,626百万円となりました。減少の主な要因は、買掛金の減少が100百万円、長期借入金金の減少が152百万円となったことによるものであります。

当期末の純資産は、13,617百万円となり、前期末と比較して531百万円（4.1%）の増加となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加が816百万円となった一方、自己株式取得による減少が198百万円となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して160百万円（7.3%）増加し、当連結会計年度末には2,355百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、924百万円（前連結会計年度は1,407百万円の増加）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益1,515百万円に加え、減価償却費が326百万円となった一方、売上債権の増加額が187百万円及び法人税等の支払額が533百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、172百万円（前連結会計年度は478百万円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が174百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、644百万円（前連結会計年度は104百万円の減少）となりました。これは主として長期借入金の返済による支出が171百万円、自己株式の取得による支出が198百万円及び配当金の支払額が209百万円となったことによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	69.3	71.9	75.2	72.5	75.2
時価ベースの自己資本比率（%）	46.8	72.5	56.0	41.7	41.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.5	1.1	0.2	0.6	0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	216.0	208.5	808.7	456.6	332.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、全世界に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響等により、国内外の経済は予断を許さない状況が続くものと予想されます。また、設備投資の減少や個人消費の低迷などによる景気後退が懸念される状況となっております。

建設業界におきましては、政府の国土強靱化計画等に基づく公共投資は堅調に推移することが予想されますが、民間設備投資には一部慎重な動きも見られるなど、新型コロナウイルス感染症の影響は当面続くものと予想されます。また、建設技能労働者の不足や、工事材料費・労務費の高止まりなどの、厳しい経営環境も続くものと予想されます。このような業界動向を踏まえ、当社グループにおきましては、“人のお役に立つために創造提案型企業を目指す”という基本方針のもと、引き続き、顧客価値の最大化を目指してまいります。

なお、当社グループは、今年度よりスタートする「Vision2023」“私たちは独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して社会に役立つ集団となります”（最終年度2024年3月期）のもと、「人財育成」、「全体最適化」をはじめとした経営課題への取組みを通じて、企業価値向上に努めてまいります。

以上のことから、次期（2022年3月期）の連結業績につきましては、売上高18,350百万円、営業利益1,520百万円、経常利益1,520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,020百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279,824	2,416,028
受取手形及び売掛金	3,709,586	3,889,394
商品及び製品	2,733,086	2,644,370
仕掛品	627,561	685,181
未成工事支出金	27,019	51,491
原材料及び貯蔵品	944,349	881,382
未収入金	304,665	128,359
その他	129,046	256,964
貸倒引当金	△596	△146
流動資産合計	10,754,544	10,953,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,779,823	4,775,344
減価償却累計額	△3,203,946	△3,279,970
建物及び構築物(純額)	1,575,876	1,495,374
機械装置及び運搬具	3,936,725	3,864,789
減価償却累計額	△3,446,867	△3,452,096
機械装置及び運搬具(純額)	489,858	412,693
工具、器具及び備品	716,430	724,134
減価償却累計額	△588,718	△622,263
工具、器具及び備品(純額)	127,711	101,871
土地	3,427,894	3,424,474
リース資産	56,781	56,781
減価償却累計額	△43,845	△51,237
リース資産(純額)	12,936	5,544
建設仮勘定	22,084	32,390
有形固定資産合計	5,656,362	5,472,348
無形固定資産		
ソフトウェア	27,535	18,157
ソフトウェア仮勘定	-	58,759
のれん	25,285	19,336
その他	18,598	18,471
無形固定資産合計	71,420	114,725
投資その他の資産		
投資有価証券	213,936	247,994
長期貸付金	29,121	22,429
繰延税金資産	357,431	354,423
投資不動産	442,473	441,573
減価償却累計額	△121,977	△124,014
投資不動産(純額)	320,495	317,559
その他	249,089	240,312
貸倒引当金	△964	△625
投資その他の資産合計	1,169,109	1,182,094
固定資産合計	6,896,892	6,769,168
資産合計	17,651,436	17,722,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,227,662	1,127,349
短期借入金	433,240	363,756
未払法人税等	292,432	231,510
賞与引当金	125,771	125,269
その他	700,546	630,420
流動負債合計	2,779,653	2,478,305
固定負債		
長期借入金	462,471	310,445
役員退職慰労引当金	15,065	16,704
退職給付に係る負債	1,144,499	1,129,474
繰延税金負債	114,166	129,371
その他	49,208	40,206
固定負債合計	1,785,410	1,626,200
負債合計	4,565,063	4,104,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,208	584,896
利益剰余金	11,445,725	12,262,558
自己株式	△326,872	△521,612
株主資本合計	12,468,651	13,094,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,127	31,766
繰延ヘッジ損益	40,483	11,979
為替換算調整勘定	274,910	207,764
退職給付に係る調整累計額	-	△10,124
その他の包括利益累計額合計	325,521	241,386
新株予約権	57,538	57,538
非支配株主持分	234,661	224,330
純資産合計	13,086,372	13,617,689
負債純資産合計	17,651,436	17,722,195

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,490,912	17,940,626
売上原価	12,749,230	12,578,795
売上総利益	5,741,682	5,361,830
販売費及び一般管理費		
運賃	374,215	363,270
貸倒引当金繰入額	△141	△503
役員報酬	172,533	180,390
給料及び手当	1,464,990	1,421,495
賞与	312,535	271,099
賞与引当金繰入額	85,135	84,711
退職給付費用	80,179	72,661
役員退職慰労引当金繰入額	2,742	2,984
法定福利費	294,262	277,428
減価償却費	126,437	122,623
その他	1,320,266	1,090,126
販売費及び一般管理費合計	4,233,156	3,886,288
営業利益	1,508,525	1,475,542
営業外収益		
受取利息	1,066	1,141
受取配当金	5,404	3,196
仕入割引	32,192	31,761
投資不動産賃貸料	21,583	11,221
持分法による投資利益	791	651
為替差益	72,514	58,184
その他	33,170	36,216
営業外収益合計	166,723	142,374
営業外費用		
支払利息	2,811	2,885
売上割引	127,099	118,657
その他	15,543	14,965
営業外費用合計	145,454	136,508
経常利益	1,529,794	1,481,407
特別利益		
固定資産売却益	1,952	39,319
特別利益合計	1,952	39,319
特別損失		
固定資産除却損	4,939	1,958
投資有価証券評価損	719	-
投資有価証券売却損	3	-
役員退職慰労金	-	3,300
特別損失合計	5,663	5,258
税金等調整前当期純利益	1,526,084	1,515,468
法人税、住民税及び事業税	509,266	455,381
法人税等調整額	△3,765	23,022
法人税等合計	505,501	478,404
当期純利益	1,020,582	1,037,064
非支配株主に帰属する当期純利益	12,148	10,154
親会社株主に帰属する当期純利益	1,008,434	1,026,910

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,020,582	1,037,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,803	21,646
繰延ヘッジ損益	△47,926	△28,504
為替換算調整勘定	88,623	△79,162
退職給付に係る調整額	-	△11,981
その他の包括利益合計	17,893	△98,001
包括利益	1,038,475	939,062
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,013,584	942,774
非支配株主に係る包括利益	24,891	△3,711

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,590	590,562	10,633,512	△229,501	11,763,162
当期変動額					
剰余金の配当			△196,221		△196,221
親会社株主に帰属する当期純利益			1,008,434		1,008,434
自己株式の取得				△97,370	△97,370
自己株式の処分					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△9,353			△9,353
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△9,353	812,213	△97,370	705,488
当期末残高	768,590	581,208	11,445,725	△326,872	12,468,651

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	32,924	88,410	199,036	320,371	51,733	203,659	12,338,927
当期変動額							
剰余金の配当							△196,221
親会社株主に帰属する当期純利益							1,008,434
自己株式の取得							△97,370
自己株式の処分							-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△9,353
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,797	△47,926	75,873	5,149	5,805	31,002	41,957
当期変動額合計	△22,797	△47,926	75,873	5,149	5,805	31,002	747,445
当期末残高	10,127	40,483	274,910	325,521	57,538	234,661	13,086,372

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,590	581,208	11,445,725	△326,872	12,468,651
当期変動額					
剰余金の配当			△210,076		△210,076
親会社株主に帰属する当期純利益			1,026,910		1,026,910
自己株式の取得				△198,913	△198,913
自己株式の処分		3,687		4,174	7,862
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3,687	816,833	△194,739	625,782
当期末残高	768,590	584,896	12,262,558	△521,612	13,094,433

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	10,127	40,483	274,910	-	325,521	57,538	234,661	13,086,372
当期変動額								
剰余金の配当								△210,076
親会社株主に帰属する当期純利益								1,026,910
自己株式の取得								△198,913
自己株式の処分								7,862
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,639	△28,504	△67,146	△10,124	△84,135	-	△10,330	△94,465
当期変動額合計	21,639	△28,504	△67,146	△10,124	△84,135	-	△10,330	531,316
当期末残高	31,766	11,979	207,764	△10,124	241,386	57,538	224,330	13,617,689

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,526,084	1,515,468
減価償却費	328,952	326,882
のれん償却額	4,462	5,949
持分法による投資損益 (△は益)	△791	△651
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19,803	△25,686
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,719	1,639
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,208	△502
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△242	△789
受取利息及び受取配当金	△6,471	△4,338
支払利息	2,811	2,885
固定資産売却損益 (△は益)	△1,952	△39,319
固定資産除却損	1,980	360
売上債権の増減額 (△は増加)	461,113	△187,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△330,946	30,427
仕入債務の増減額 (△は減少)	△177,668	△98,423
その他	95,042	△70,237
小計	1,875,644	1,456,341
利息及び配当金の受取額	6,549	4,377
利息の支払額	△3,082	△2,785
法人税等の支払額	△471,905	△533,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,407,205	924,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56,944	△58,413
定期預金の払戻による収入	35,711	83,113
有形固定資産の取得による支出	△134,406	△174,726
有形固定資産の売却による収入	3,422	39,665
無形固定資産の取得による支出	△4,658	△62,476
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△324,373	-
貸付けによる支出	△173	△1,098
貸付金の回収による収入	9,349	7,422
その他の支出	△7,054	△8,302
その他の収入	430	2,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478,695	△172,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	574,890	-
長期借入金の返済による支出	△324,798	△171,510
自己株式の取得による支出	△97,370	△198,913
配当金の支払額	△196,332	△209,991
非支配株主への配当金の支払額	△3,242	△6,618
その他	△8,015	△7,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,869	△644,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	83,210	53,226
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	906,850	160,660
現金及び現金同等物の期首残高	1,288,392	2,195,242
現金及び現金同等物の期末残高	2,195,242	2,355,902

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行っているものであります。

当社グループは、主要事業であるファスニングに関連する機能毎の本部とファスニング以外の事業を行う機能材本部を置き、各本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ファスニング事業」、「機能材事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	ファスニング 事業	機能材事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,007,925	4,482,986	18,490,912	-	18,490,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95,212	289,808	385,020	△385,020	-
計	14,103,137	4,772,795	18,875,933	△385,020	18,490,912
セグメント利益	1,886,234	455,047	2,341,281	△832,755	1,508,525
その他の項目					
減価償却費	219,899	72,562	292,461	36,491	328,952

(注) 1. セグメント利益の調整額△832,755千円には、セグメント間取引消去2,843千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△835,598千円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 資産については、報告セグメントに配分していません。

4. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	ファスニング 事業	機能材事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,588,213	4,352,412	17,940,626	-	17,940,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,366	227,981	302,348	△302,348	-
計	13,662,580	4,580,394	18,242,974	△302,348	17,940,626
セグメント利益	1,761,332	526,573	2,287,906	△812,364	1,475,542
その他の項目					
減価償却費	215,048	75,166	290,214	36,668	326,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△812,364千円には、セグメント間取引消去19,173千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831,537千円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 資産については、報告セグメントに配分していません。

4. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファスニング事業	機能材事業	合計		
当期償却額	-	4,462	4,462	-	4,462
当期末残高	-	25,285	25,285	-	25,285

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファスニング事業	機能材事業	合計		
当期償却額	-	5,949	5,949	-	5,949
当期末残高	-	19,336	19,336	-	19,336

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,583.46円	1,695.30円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	13,086,372	13,617,689
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	292,199	281,868
(うち新株予約権(千円))	(57,538)	(57,538)
(うち非支配株主持分(千円))	(234,661)	(224,330)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,794,173	13,335,820
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	8,079,867	7,866,365

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益金額	123.58円	128.18円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,008,434	1,026,910
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,008,434	1,026,910
期中平均株式数(株)	8,159,884	8,011,533
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	122.38	126.86
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	80,089	83,009
(うち新株予約権(株))	(80,089)	(83,009)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。